

前回(第4回)に委員よりいただいた御意見への対応案

前回(第4回)の主な御意見	対 応 案
・事例一覧の記載に具体的な記載があった方が分かりやすいのではないかな。	・第2章「各事例の紹介」事例一覧の「計画の主な特徴」欄に施設の特徴を記載した。
・各事例がどのような性格をもっているのか、一見して分かるようにした方がよい。	・第2章「各事例の紹介」事例一覧の「計画の主な特徴」欄に「オープン、コミュニケーション、フレキシビリティ、セキュリティ/セーフティ」のキーワードをアイコンで表示した。
・計画段階における多くの関係者の参画が重要と考えられることから、事前準備のプロセスを紹介できれば有効ではないかな。	・大学へのヒアリングやアンケート調査を踏まえて、事例集にプロセスを整理のうえで追記し、また、第4章「今後に向けた留意点」の1. 構想・計画段階にも掲載する形とした。
・カテゴリー区分については、ウェット/ドライの区分の他、産学連携や学生利用といった区分も含めて複数カテゴリーに該当する場合も想定して区分した方がよい。	・カテゴリー区分については、「ドライ」と「ウェット」の2つの区分とし、その区分の中で産学連携施設等であれば「連携」、学内専用施設であれば、「学内専用」として区分し、第2章「各事例の紹介」事例一覧の「施設名称」欄に表記した。
・事例掲載の中で、担当がどのような工夫で困難を乗り越えたかなど記載できれば有効ではないかな。	・大学へのヒアリングやアンケート調査を踏まえて、第4章「今後に向けた留意点」の1. 構想・計画段階に掲載する形とした。
・事例数を絞り込んだ経緯を掲載するべきではないかな。	・第1章「2. 掲載事例の選定」に記載した。
・事例集の図面寸法などの記載や本文中のアイコン表示など分かりやすくした方がよい。	・図面の寸法を追記した。 ・カテゴリー区分の見直しに合わせて、ページ両袖のインデックス表示を分かりやすくした。
・専門用語や「オープン」等のキーワードの解説を記載した方がよい。	・第1章「3. 構成と特色」に事例集中で共通で使用しているカテゴリーの区分や4つのキーワードについて解説を追加した。 ・コンタミネーションなどの専門用語は該当事例の中で注記した。